

千年の森便り No.160

2016.11.18

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

11月13日(日) 快晴

参加は秋元、新井通子、伊藤、石松夫妻、大原、苅米、久我夫妻、坂本、田島、中田夫妻と子供たち、根本、真鍋、山口の会員に加え、森林インストラクター会の小池、神子、龍門、植沢・渡辺、和波さまをお迎えし、総勢25名。

澄み切った青空の下、穏やかな小春日和の森で、会員それぞれが、コナラ林の伐採や、ギャップ更新区の植生調査、野鳥や昆虫調査など楽しみました。子供たちは大きなコウタケを沢山見つけて大喜びでした。(真鍋)



○森林インストラクター来訪

12月3日(土) 予定の森林インストラクター会視察の下見に森林インストラクター6名の来訪があり、島内を一通り案内した。川回しなど島の概要を説明のうえ、モミ、ツガ林の生息環境、鹿の食害、ヒメコマツ植栽に至る経緯などについて情報提供をした。森林インストラクターの皆さんの樹木に向き合う真摯な態度に、教えられることの多い時間だった。(伊藤)



○コナラ伐採

林床に光を入れる目的で、ヒメコマツが植栽されている南側のコナラを5本伐採しました。伐採木はシイタケ原木として利用するため葉干しをしています。ほかに立枯れしている危険木を5本伐採しました。(根本)



○ホテイ岬整備

豊英島に架かるつり橋が見えるホテイ岬の東側を選んで整備しました。枯れ竹や朽ちた木を整理し、つり橋が見通せる絶景の場所が確保できました。次回の活動日には紅葉したモミジに赤いつり橋が映える撮影ポイントになりそうです。今後は憩いの場所になるよう、倒木を利用した簡単なベンチなどを設置する予定です。

作業中に竹の枝元に30cm程のスズメバチの巣を発見しました。(高さ6m位) 蜂はまだ活動中の様子なのでしばらくは静観します。この竹を刺激しないよう注意して下さい。(次回に目印を付けます) (根本)



キイロスズメバチの巣(坂本)

○昆虫観察記録

小春日和で暖かく、成虫で越冬する虫たちが元気な姿を見せてくれた。キタキチョウ、アカタテハ、キタテハ、ルリタテハ、ウラギンシジミは、日向ぼっこをしたり、食事をしたり、忙しそうであった。成虫で越冬するホソミオツネトンボもたくさんおり、フワフワ飛んでは木の枝にとまった。



アカタテハ



キタテハ



キイロスズメバチ



ルリタテハ

キイロスズメバチの腹部のみがトゲアリの巣のそばにあり、まだピクピクと動いていた。中田家の皆さまと「針を出さないからオスかな」「気持ち悪い」「キイロスズメバチは誰に襲われたのだろう」などと言いながら観察した。今日一番の不思議であった。トゲアリがキイロスズメバチに触らないことも不思議だった。(田島)

ヒメツチハンミョウ♂

ハンミョウとは全く違う仲間。毒があるので触らないこと！オスの触角に注目。中田祐史君が見つめてくれたのはメスだった。



キンケハラナガツチバチ♀

土に頭をつっこんで潜っていた。これはコガネムシの幼虫に卵を産みつけるそうだが、産卵する幼虫を探しているのだろうか。



トゲアリ

胸が赤く鋭い棘があるアリ。なんとかっこいい！木の根元の洞に営巣しているのを発見した。



クロコノマチョウ♂

大きなチョウが薄暗い所をヒラリヒラリと飛び、枯葉が積もった地面にとまる。とまると枯葉そっくりで、どこにいるかわからない。



(他に観察された昆虫)

オオアオイトトンボ、アキアカネ、モリチャバネゴキブリ幼虫、モリオカメコオロギ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツマグロオオヨコバイ、オオセンチコガネ、ホソヒラタアブ



コウヤボウキにキタキチョウ



コウヤボウキに昆虫たち(坂本)



○野鳥記録

トビ声 カワセミ声 コゲラ声 モズ声 カケス1+声 ハシブトガラス声 ヤマガラ声 ヒヨドリ声
ウグイス声 エナガ7+声 メジロ声 ショウビタキ1+声 以上 12 種

ヤマガラとエナガの声が島のいたる所で聞こえました。コンコンコンと突く音も何度か聞きましたが、キツツキの発する音とは言い切れません。この時期はヤマガラもドングリなどを突いて食べますから、その音の可能性もあります。

午後、ヒメコマツ植栽地近くでジョウビタキの雌が撮影されました。背中中の紋付模様が特徴です。ジョウビタキは10月末に越冬のために渡って来て来春まで日本で過ごします。(坂本)



ジョウビタキ♀(真鍋)

○センサーカメラの動物

今回はかなりの頻度で写っていましたので撮影日と種類を列記します。不審人物の画像はありませんでした。

10月17日/シカ アナグマ 19/サル 20/タヌキ 21/シカ
22/スズメバチ sp アナグマ 23/シカ親子 24/アナグマ
25/シカ 29/スズメバチ sp
11月1日/アナグマ 5/アナグマ 8/スズメバチ sp シカ
11/シカ 12/シカ



ニホンジカ親子10月23日 16:58

前回に引き続きスズメバチの写る回数が多いので驚いています。小さなスズメバチにセンサーが反応するとは思えないので、何かの要因でシャッターが切れた時、偶然写り込んだものと思います。

根本さんがホテイ岬整備作業中にキロスズメバチの巣を水際で見つけました。風が吹けば揺れるような不安定なマダケの間に巣があるのは初めて見ました。既に空になった巣と思い刈米さんが鉈の背で竹の根元を叩くと中から10匹ほど這い出してきましたが、幸い飛び回ることはありませんでした。

伐採作業が先月で、巣に気づかなかっただら事故になった恐れがありました。(坂本)

大きなコウタケに感動

大きなコウタケを見つけて感動しました。この秋見たキノコで最大のキノコでした。重さは1.25キロありました。ヒメツチハンミョウのメスも見つけました。

○きのこ記録

短い時間しか参加できず残念でしたが、特大コウタケが見られて良かったです。翌日吹春先生の研究室に伺い、特大コウタケを届けてきました。来年のキノコの企画展で「大きなキノコ」として使用されるそうです。

その他のキノコも同定していただきました。

- ・コウタケ ・ナラタケ ・ミネシメジ ・ウラベニホテイシメジ
- ・クロラップタケ ・シイタケ ・キンチャウタケ
- ・アカモミタケ ・ウスタケ ・フウセンタケ属の3種

吹春先生から「きのこがまだ出ているんですね。10月に全然出なかった分が、今、雨が十分降っているので、出ているのでしょうか。きのこは、わからないですね。巨大コウタケ、ほんとうに、ありがとうございました。」とのコメント頂きました。(中田真也子)

中田裕史君(小5)



○ギャップ更新区の植生調査

10月に植生調査が出来なかった為伊藤事務局長より提案があり、11月は2回植生調査を行いました。
(全部で25区画ありますが9月までに終了しているのは14区画です)

臨時活動日：11月5日(土) 秋元さんと9時より14時半まで実施。A5、B3～5、C2～5まで計8区画を終了しました。

定例活動日：11月13日(日)秋元さん、途中から中田さんも参戦して、昼食までにA2～4の計3区画終了しました。これで今年度はすべて終了した事になります。

以前よりまた背丈が伸びたり、混んでいて分け入るのが大変な区画も多くなり、特に棘の鋭いカラスザンショウには悩まされました。また以前マダニに刺されて切開治療した経験から凄く気を遣いました。

前回は落枝落葉のため区分テープが埋もれてしまい境界線が不明瞭でしたが、今回ピンクテープ棒を作ってきてくれた秋元さんのおかげでかなり能率アップすることが出来ました。(新井通子)

○林床には

林床にはリンドウやコウヤボウキなど晩秋の花が咲いていて癒されました。(中田真也子)



リンドウ



コウヤボウキ



センブリ



リュウノウギク



ミヤマシキミの実



ミヤマシキミの蕾

ミヤマシキミは雌雄異株ですが、
この蕾は♀♂不明です。

上空も豊英湖も青く澄み、湖畔には紅葉が色づき始めていました。



お知らせ

○12月活動日

12月4日(日) 9時30分君津市清和自然休養村管理センター集合。シカ個体数調査 巨木林成長量調査、ホダ木玉切り、野鳥調査 ホテイ岬整備など計画しています。関東一遅い紅葉狩りを兼ね参加ください。

○Face Book ちば里山_People 里山関係のグループ、個人の活動情報が満載です。当会会報誌担当も編集者に指名され情報提供しています。下記にリンクしてご覧ください。

ちば里山_People リンク先：<https://www.facebook.com/chibasato.people/>